巻/頭/言

昇降機・ビルシステム特集号に寄せて

Contribution to Special Issue on Elevator, Escalator and Building System

吉川正巳
Masami Yoshikawa

世界的な人口増加，都市化が進む一方で持続可能な社会を目指し，省エネルギーで高効率な都市機能，そしてより安全で安心な都市空間の実現が求められている。社会が求める全ての人々にとって働きやすく，暮らしやすい街づくり／都市づくりの一翼を担うために，昇降機・ビルシステム業界が果たすべき役割と責任には大きいものがある。2011年の東日本大震災では改めて昇降機の持つ社会的役割の大きさを再確認したところでもあった。快適で利便性の高い都市生活を実現する重要なインフラとしての昇降機は，ビルの高層化，大規模／多様化に対応した高速大容量化への技術開発と共に安全性，信頼性に裏づけされた安心への提供が求められる。昇降機の高速化と快適性を高いレベルで両立，また大震災を機会にこれまでの耐震性能や広域災害時における復旧システムの再評価が行われ，より一層の安全と安心の提供，その管理・保守サービスの機能を高める機会となるよう業界を挙げて努力をして行く必要がある。

三菱電機は総合電機メーカーならではの総合力で昨今の社会的ニーズに対応，ビルの価値を創造し，それを高める開発・提案に積極的に取り組んでいる。また，広く安全性，利便性の向上，及び省エネルギーなどの社会ニーズに応えるには市場で稼働している多くの既設昇降機のリニューアルを進めていくことが重要でかつ効果的である。最新の昇降機では大幅な省エネルギー性の向上はもちろん，安心を提供する遠隔監視，地震時管制運転，万が一の際の遠隔救出や地震時の自動復旧などの機能を実現している。当社はこれら最新技術をリニューアル製品に展開して，部分改修から一括改修まで多様な改修メニューを用意し，顧客のニーズに応えている。

2011年の大震災以降，節電，省エネルギーに関する対応が喫緊の課題，社会的責任としてクローズアップしてきている。これらのニーズに応えるソリューションは多様化，高度化し，その対象もビル，工場から住戸に至るまで裾野は極めて広くなってきている。さらに個別最適から全体最適へと広い視点でより良い答えを創出し，具現化するための技術力の向上が求められる。ビルの中央監視システムは従来のビル設備の監視／管理の領域から消費エネルギーの見える化による電力のデマンド制御やピークカット制御，さらには発電，蓄電側と需要家側との最適な制御によって経済活動や快適性を犠牲にしない省エネルギーの実現に向け，開発が進められている。省エネルギーのニーズは新規ビルだけでなく，既存ビルの付加価値を向上させる手段としてもその市場は大きく，今後更なる成長が見込まれる。また，都市化による人口集中や情報の高度化がもたらす社会不安／生活不安を解消し，安全で安心な経済活動や社会生活を実現するためのセキュリティには高い防御性能と不自由さを感じさせない利便性を両立させていくことが求められる。ビル内の動線を扱うセキュリティと昇降機やビル内設備群を省エネルギーの切り口で連携することで新たな付加価値の創出も可能である。

災害に強く，安全で安心，そして環境にやさしい街づくりのあり方が改めて問われている。

当社はセキュリティ，省エネルギー関連の技術，製品のみならずビル設備の運営・管理，保守サービスにおける独自の全国インフラ網を持っており，社会が抱える新たなニーズに総合的な視点で応え，現代社会に貢献していく。

◆執行役員　ビルシステム事業本部 副事業本部長 兼 ビル事業部長
Group Senior Vice President and General Manager, Domestic Marketing Division, Building System Group